

第4回ゆりはま創生総合戦略会議 議事録

日 時 平成27年10月14日（水） 15時00分～15時30分
場 所 湯梨浜町役場 講堂
出席者 中島 守、山脇 賢治、坂田 康則、宮脇 正道、山田 修平、遠藤 公章、
尾崎 泰弘、若山 敬之、銭谷 均、伊藤 鈴江、佐伯 健二、森田 宏樹、
杉本 貴美子（欠席者【委任状】：井土美智子、加藤 一）
事務局 仙賀芳友副町長、中本賢二課長、岩崎正一郎参事、船木宣孝副主幹、
鳥取県中部総合事務所地域振興局参事 中本修（コンシェルジュ）

1. 開会

（事務局）

これより、第4回ゆりはま創生総合戦略会議を開催いたします。

開催に当たりまして会長よりごあいさつと進行のほうもよろしく申し上げます。

2. 会長あいさつ

（会長）

こんにちは。ご出席いただきまして、ありがとうございます。

この会は、5月、7月、9月と3回行って参りました。大きなテーマが、まち・ひと・しごとというので、要はこのまま放っておくとこの湯梨浜町に限らない地方の人口がどんどん減ってしまうと。人口減少をまず食い止めなければいけない。そのためには、子育てあるいは子どもを見やすい環境、でもそれだけではいけないので、余所からも来ていただかなくてはならないだろうと。しかし、やっぱりここの環境を良くしていかなければいけない、住んでいる人たちが住みやすい町も作らなくてはいけない。でも、仕事も欲しいなど。この湯梨浜の特徴を活かした仕事、産業はなんだろう。色んな角度から考えていただいて案を作っていました。

前回、素案を作ってそれをパブリックコメントにかけて、ご意見をいただいた。今日は前回以降の状況と、その後、とりわけ町長の思いで修正をした部分があります。それらをお聞きして最終案を固めたいというのが今日の主旨になります。どうぞよろしく申し上げます。

3. 湯梨浜町人口ビジョン、まち・ひと・しごと創生総合戦略について

（会長）

それでは早速議事に入りたいと思います。

先ほどご挨拶しましたとおり、前回3回目、9月2日以降の状況を事務局から説明を願います。

（事務局）

まず資料の確認をさせていただきます。事前に送付させていただきました、資料1「湯梨

浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略」、町報をコピーしました資料2「湯梨浜創生への指針」と取り組みスケジュールを記載しました資料3「地方創生の取り組みスケジュール表」、それから、机の上には一部修正を加えた「湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を置かせていただいております。

それでは、本日のレジュメのほうをご覧くださいければと思います。

こちらの3番目、カッコ1をご覧ください。第3回総合戦略会議以降の状況でございます。

9月2日に議会全員協議会のほうで、総合戦略の素案について報告をさせていただきました。

9月3日から24日まで、町民等を対象といたしましてパブリックコメントを実施いたしました。こちらにつきましては、ご意見のほうはございませんでした。

9月11日に湯梨浜町人口ビジョンにつきまして、国のほうへ報告をさせていただきました。

9月25日に再度議会のほうで、質疑のほうを行っていただいております。

また、本日お配りいたしました資料2「湯梨浜創生への指針」ということで、こちらが10月号の町報で人口ビジョン並びに総合戦略の素案について町報で掲載したものを参考ということでお配りしております。要約したものでございます。

役場の中のほうでございますが、10月5日に創生本部会議を開催いたしまして、事業内容についても役場内で協議を行いました。

本日10月14日、こちらで戦略会議を行っているところでございます。以上が経過についての説明でございます。

(会長)

何か今のところでご意見等ありませんか。こういうような動きがあったと、ご確認いただければと思います。

(委員)

ちょっといいですか。

(会長)

はい、どうぞ。

(委員)

パブリックコメントを行って、それに対する意見が無かったという報告なんですけども、地方創生に望ましい姿というのは、やっぱり住民の中からも湧き上がってくるような恰好がいいなと理想としては思うんですけど、パブリックコメントに対する意見が無かったということは、関心が薄いのかなど。というふうにもとれるんですけど、その辺はどのように受け止められているのでしょうか。

(事務局)

本来ですとおっしゃるとおりでございますが、町内の放送でも1回ではなくて時期を変えて再度させていただきましたが、ご意見が無かったというのはおっしゃるとおりで、一方に事前に町内の各種団体のほうには春以降、ある程度回らせていただいたんですけど、最後何

かございましたらということで、何かあったほうが良かったのかなとは思っております。

(会長)

よろしいですか。

(委員)

はい。

(会長)

ただ、事前の聞き取りは随分されたように印象を持っておりますけども。

他にはよろしいでしょうか。

では2点目、前回我々が確認したものに修正がありましたので、お願いします。

(事務局)

それでは、本日お配りしました資料1 総合戦略のほうをご覧ください。

今回修正を加えましたところは、赤字で表記している部分でございます。

まず、5ページをご覧くださいただければと思います。5ページの一番下でございます。

観光産業の振興のところの具体的事業でございます。

以前は、「グラウンド・ゴルフ国際・聖地化促進のための総合戦略」ということで、8月末にタイプIということで国へ申請した事業名を書いていたのですが、包括的に広い目で見まして名称を変更させていただいております。「グラウンド・ゴルフ国際化及び潮風の丘聖地化の推進」ということで事業名の修正をしております。

6ページでございます。6ページの上から4段目、「天女のふる里づくり事業」でございます。

以前は、「天女のふる里づくり事業」止まりでございました、それに追加で「による東郷湖周の魅力創造」という文言を追加したものでございます。

続きまして、③商工業の振興でございます。

こちらのKPIでございますが、現状のところ以前は0件ということにしておりましたが、この支援制度といいますのが、現在チャレンジショップ等の支援を行っております。現状のところ平成27年度はございませんが、今までの累計の数に修正をさせていただきました。

チャレンジショップで今までに助成をしました起業された方が3件ということで修正をさせていただきました。

続きまして、具体的事業でございます。下3つが修正部分となっております。

「港の資源振興事業」でございますが、こちらにつきましては、5ページの具体的事業の下から3つ目でございます。農林水産業の振興の具体的事業に以前から記載しておりますのが、商工業の振興の分野でも再掲という形で、商工業にも繋がるであろうということで再掲をさせていただきました。

次に、本町がアメリカ合衆国ハワイ郡と姉妹都市提携をしておりますので、そういった関係からも姉妹都市提携を通じました商品開発というものにも取り組んで参りたいということを追加いたしました。

また、中学校統合に伴いまして、北浜中学校と東郷中学校、こちらが跡地という形で残り

ますので、こちらの跡地利用の策定も行いたいというこの2点と再掲をここに掲載をさせていただきます。

次に7ページでございます。7ページのほうが雇用の推進のK P Iの現状でございます。

こちらにつきましては、雇用促進奨励事業というのを以前から進めております。新たに雇用していただきました雇用増という形でしていただきました企業に対して、助成を行う事業であります。平成26年度の数字を上げさせていただきました。ということで、0人から2人ということで修正をお願いいたします。

次に8ページをご覧くださいと思います。8ページのほうは、「安心して暮らせるまち」の①子育て環境の推進でございます。これの丸の2つ目でございます。

こちらは妊娠期から子育て期に渡る総合的相談支援を行う、以前は「ワンストップ化を推進」と、「を」というのを「ワンストップ化の推進」ということで「を」を「の」に修正をさせていただければというものでございます。

続きまして、11ページをご覧くださいと思います。11ページのほうが、「町民みんなが創るまち」というところでございます。こちらの基本的方向でございます。それのまず3つ目でございます。

「地域住民が主体的・意欲的に取り組む地域を守る防災体制づくりや、だれもが参加しやすい」以前は、「拠点づくりの推進します」ということでございましたが、こちらも文言の修正で、「拠点づくりを推進します」という文章の修正でございます。

それから、4つ目でございます。新たに追加をお願いしたいと思います。

「NPO法人、ボランティアグループの育成を図り、各分野における住民参画を促進します」というものを追加で提案をさせていただければと思います。

次に12ページでございます。まず具体的事業でございますが、下から2つ目でございます。

「生涯活躍のまち湯梨浜町版CCRC事業の推進」ということで、以前も9ページの②地域福祉の推進の具体的事業の一番下でございます「生涯活躍のまち湯梨浜町版CCRC事業の推進」ということで載っておりますが、移住定住分野におきましても再掲をさせていただければというものでございます。

それから、「町営住宅の若者向け住宅とCCRCによる高齢者住宅の改修」ということで、以前のほうは上から5つ目でございます、「若者向け公営住宅整備事業」というものを掲載しておりましたが、こちらを消していただきまして、一番下のほうに「町営住宅の若者向け住宅とCCRCによる高齢者住宅の改修」という具合に修正をいただければと思います。

次が②まちのにぎわい創出や拠点の形成分野でございます。これの具体的施策の一番下の丸でございます。

こちらは先ほどNPO法人とかボランティアグループの育成を図り各分野における住民参画を促進しますという基本方向に照らし合わせた具体的施策ということで、「環境・健康づくり・福祉・教育等様々な分野における団体の育成を図り、自助・共助を推進するほか、住民参画による行政推進を目指す」というものを追加したところでございます。

合わせまして、KPIということで「NPO法人、ボランティアグループの数」といことで、現在本町に登録や実際の活動を行っておられる団体が36団体ございます。これを5年後には約1.2倍ぐらいを目標に7団体増の43団体を目指したいというものに、追加をさせていただければというものが、本日修正を加えさせていただいた内容でございます。以上でございます。

(会長)

何かご質問ご意見ありましたら、お願いします。

(委員)

他町の戦略会議に出席したんですけど、他町の出生率が1.6が目標で、湯梨浜は凄く高いということで、環境が凄くいいと思いました。

今後、教育の中で教育にも力を入れていかれるということなんですけど、小中学生の例えば商工会議所の青年部とか地域を担っておられる方に講演とかビジネス教育をやっていたきたいなど。それは地域のこういった人がいると知っておくと将来出たとして戻ってこられるとか、ビジネス教育においてビジネスプランでは、起業をしていくのに小学生とか中学生に、今日本公庫のほうでは高校生のビジネスプランということでやってるんですけども、出来たら小学生、中学生にもそういったビジネスを考えてもらう機会を授業でやっていただくと、問題解決能力も付くし地域の課題ということも考えていただく機会が出来るのかなと思います。ご検討いただきたいなと思います。

あと、移住定住に関しては、今県と創業セミナーを東京とかでやろうとしています。来年度多分予算ができるんで、出来たら来年の2月、3月に創業セミナーをやった時に創業者、起業者を対象に鳥取に来ていただくようなPRをして、その中の選択肢に湯梨浜があれば是非ご案内して、もし住宅ローンとかあれば我々は事業支援しか出来ないんで、鳥銀さんとか合銀さんと連携してやりたいなと思っています。移住定住について、創業者にも力を入れてやっていきたいと思っています。以上です。

(会長)

具体的な運営の話ですね。他にありますか。

(委員)

前段の分のビジネス教育は、特に湯梨浜に立脚したお仕事に関してとかそういうことをふるさと教育の中で織り込んでやりたいなと思っています。

(会長)

はい。そういうふうな、ここに書いてあることにこんなふうにしてほしいというご意見も大いに結構かと思っています。いかがでしょうか。概ねよろしいですか。皆さんの思いが入りますでしょうか。

では、修正部分もご確認いただいたということでよろしいでしょうか。

修正部分も皆さんにご了承していただいたというふうにしたいと思います。

他にはいいでしょうか。

では、今後のスケジュールをお願いします。

4. 今後のスケジュールについて

(事務局)

資料3をご覧くださいいただければと思います。スケジュールを掲載しております。

10月の欄をご覧くださいいただければと思います。先ほど申し上げましたとおり、人口ビジョンにつきましては10月に町報に掲載したりとか、国へ報告をいたしております。

今回、総合戦略の策定のところをご覧くださいいただければと思います。実績の欄でございます。

本日、第4回の総合戦略会議で最終決定ということで公表のほうをさせていただきまして、国のほうに報告をさせていただければと思います。

具体的な事業につきましては、役場の中になります、創生本部会議のほうで詳細につきましては練っていかうという具合に考えております。

また、委員の皆様方のほうにはこちらの計画の3月の欄をご覧くださいいただければと思います。3月にPDCAという四角で囲っております。平成27年度、1年分ではございますが、毎年PDCAをかけたいということでございますので、3月ぐらいを目安に再度この総合戦略会議のほうで開催をいたしまして、事業の進捗状況等を委員の皆様方にご確認をいただいて、またPDCAで修正なり変更なりご意見をいただきながら、また総合戦略を練っていきたいということでございます。5年間、このPDCAを毎年繰り返していきたいというものでございます。

あと、先回の総合戦略会議のほうでご説明いたしましたタイプⅠ、タイプⅡの交付金の関係でございます。昨日、中国ブロックの会議がございまして、国のほうがまだ準備が出来ていないようでありまして、基本的には10月末をもってタイプⅠ、タイプⅡにつきましては報告をしたいという段取りでございましたが、昨日の段階では10月末までに決定をして、11月上旬ぐらいにどこがいくらかを公表したいということで、10月末は厳しいというところでございます。

また、28年度以降の新たな交付金でございます。国は平成28年度に事業費ベースで2,060億円、交付ベースで1,030億円の交付金を予定していますが、こちらについても詳細は年明けに公表する形ということの報告がございましたので、併せて報告させていただきます。以上です。

(会長)

皆様方から、ご質問やご意見ありますでしょうか。

一応用意したことは以上で終わりますが、事務局のほうから何かありますか。

5. その他

(委員)

総合戦略の中で既に動いているものも、26年度の補正予算の中でもあります。その中からいくつかご紹介させていただきたいと思っております。

まず、総合戦略全般について監査委員さんからでしたが、総花的だというようなご意見を

いただきまして、この地方創生に関してはしなければならぬことはとりあえず全て拾い上げて、その中で大きなもの小さなものと別れてくるということでご説明いたしました。

拾うにあたりまして先ほど委員さんのほうからご意見ありました、最後の段階でいいことにつけ、悪いことにつけ町民の皆さんの声というのが直接入ってくればありがたかったんですが、それが無かったというのが残念ですが、会長にもおっしゃっていただきましたとおり、初期の段階で各課に関連する団体から全て聞き取りをするようにということで、そういう取り組みをしたことも、弁解済みしていますけども一因かなと思っております。

途中経過という事で、創生の中で大きな事柄としましては、宿泊客20万人というのはグラウンド・ゴルフやウォーキングの国際化等によって、ウォーキングコースの充実等によって図ろうとしている訳であります、グラウンド・ゴルフにつきましては、この7、8、9月に台湾と韓国と上海と回ってまいりまして、現地の愛好者の方達の団体、協会の方達と会わせていただきまして、お話を聞きました。2021年度のワールドマスターズゲームズに向けて毎年湯梨浜町で大会を開催していこうと、途中から県の意向もあって多分他の会場も使ってということもあろうかと思うんですが、それを今年から始めるということで、それに参加してくださいという声掛けをさせていただいたところ、今年度はとりあえず上海から60人、台湾から同じく60人程度、それからこれは県からの繋がりですが河北省から10人程度、それからスペインから4人というような形で、それだけの方が参加していただくことになりました。

韓国が出来なかったのは時期的に遅くなったということもありまして、これは役員だけでもという声もありましたが、実現しませんでした。

とりあえず130～140人、外国からお見えになるということで、滑り出しとしては少しずつで段々増えていくのが形はいいんですけども、滑り出しは良かったと思っております。

もう一つの大きな課題であります、温泉熱の2次利用につきましては、発電施設の開所式が今月中にございます。その後、今設計をまわしていますけども、水明荘と龍鳳閣のCO2削減のための、発電に使ったお湯を使うというのを発注いたします。その後で、さらにそのお湯を農業なりに使うという2次利用ですね、これを創生の中で強く意識してまいりたいというふうに思っております。

それからお手元にお配りしましたのは、天女のふる里づくりによる東郷湖周の魅力づくりの一環でございますが、天女モニュメントの聖地ということも想定しておりまして、今年の中で全国市町村協会の助成金を500万円いただきまして、本を出したりこのモニュメントを作ったりということをするんですが、制作者を探しておりましたが本町出身の先生にお世話になりまして何人かご紹介いただいて、その中でイメージを思い浮かべながらこの人がいいのではということで彫刻家の方をお願いすることになりました。この方も洞爺湖サミットの時に1基1,500万円ずつで何基か彫刻を作った時に作っておられる彫刻家として、3メートルちょっとの高さで500万円で、価格としては比較的低めでやっていただくことになりました。

それからもう一つの大きな課題でもありますCCRCについてですけども、先週東京の八

重洲北口を出たところに移住促進センターというのが出来ました。その中に鳥取県のブースがございまして、湯梨浜町と南部町と2つのパネル展示と、その他には今進めております他県の「ゆいま〜る」ですとかそういったところの紹介したブースが出来ました。湯梨浜町のブースの写真を今お配りしたんですが、このような格好でやっております、お話しいただきました移住の話はここを通じて入ってくると、直接的にはここはCCRCを意識してアクティビシニアを特に招き入れたいという思いの活動拠点になろうかと思うんですけども、そういったことも一つ進んでおります。

そのような中で、あと小さな拠点づくりも大きな課題です。それらが今度の創生の中で大きな柱としてこれをどんどんやっていけば、裾野の仕事というのがきっと出来てくるんだろうと考えてございまして、引き続き委員の皆さんご指導をお願いしたいと思っております。

(会長)

何か皆さんからありますか。

どうもありがとうございました。今、町長さんからお話がありましたけども、皆さんなり町民の思いが入っていると思っておりますので、是非絵に描いた餅にならないように実現していただくようお願いして、今日で一応終わらせていただきたいと思います。

ありがとうございました。